

10月28日：台風への懸念から売りが広がる

ベトナム株は直近3か月で最大の下落を記録した。中部での台風が経済と企業業績へ悪影響を与えるのではないかと懸念が大きくなった。

ホーチミン取引所のVN指数は2.69%（25.42ポイント）安の921.05ポイントで取引を終えた。

7月29日に2.77%下落して以来の大きな下落となった。

直近3営業日で4.18%の下落となり10月8日に付けた918ポイントまで戻されることとなった。

ベトナムでの台風9号であるMolvaによって年末にかけての経済活動や企業の業績に悪影響が出るのではという懸念から投資家はパニックを起こしたとBIDV証券は述べた。

投資家の懸念が売りを起こし多くの銘柄が下落した。

出来高は4億5600万株で売買代金にして9兆ドンであった。

365銘柄が下落し、66銘柄が上昇、44銘柄が変わらずだった。

VN30指数は2.67%安の888.88ポイントで取引を終えた。VN30先物指数は895.90ポイントで終えた。

HDバンク（HDB）、ビンコムリテール（VRE）、ビンググループ（VIC）、VPバンク（VPB）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、テクコムバンク（TCB）、ペトロリメックス（PLX）といった銘柄が大きく下落した。

それらの銘柄は3.8-6.3%安となった。

中小型株にも売りが集まった。1.76%、1.85%安となった。

小売、銀行、証券、不動産、保険、材料は水曜日にもっとも下落した。

ハノイ取引所のHNX指数は2.25%安の134.04ポイントで取引を終えた。

同指数は直近3営業日で5.4%ほど下落している。

出来高は 6800 万株で売買代金にして 1.04 兆ドンが取り引きされた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。